

令和5年度 第2回放課後対策事業運営委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和6年2月19日(月) 午前10時～午前11時
射水市役所本庁舎4階 401会議室

2 出席者

【委員】

東委員、竹林委員、八嶋委員、高田委員、宮田委員、米原委員、森田委員
星野委員 (1名欠席)

【事務局】

生涯学習・スポーツ課 石黒係長、法土主任、石黒主事、吉田コーディネーター
中コーディネーター、折橋コーディネーター
学校教育課 川淵係長、稲田主査

3 会議概要

(1) 開会

(2) 議事

【説明事項】

放課後児童クラブの実績報告

放課後子ども教室・土曜学習推進事業の実績報告

小学生学び応援塾の事業報告

コミュニティスクールについて

(3) 放課後対策事業に関する意見交換

(4) 閉会

4 放課後対策事業に関する意見交換

【委員】

- ・1月1日に起きた地震について、発災時刻が16時であったため、通常であれば学級に子どもたちがいる時間だった。非常時に、どんなふうにも子どもたちを守り、保護者に引き渡すことができたかということを確認している。そして避難訓練の大切さや、昨年、生涯学習・スポーツ課より依頼された安全計画策定の意味、日頃から災害や安全に対する意識を持つことの大切さも再認識した。
 - ・令和7年度の放生津小学校と新湊小学校の統合に伴い、私達放課後児童クラブの再編も行われることになると思う。その際、2年間過ごすことになる放生津小学校への引っ越し、新しい小学校に戻ってきたとき、どのような教室環境で新しい日々を過ごせるようになるのか先が見えず心配であるが、どうしたら子供たちとともに快適に楽しい時間を過ごせるか、私達支援も知恵を出し合いたいと考えている。
- 生涯学習・スポーツ課からの風通しの良い情報提供をお願いしたい。

【事務局】

- ・放生津小学校と新湊小学校の統合については、新しく使用する部屋等の具体的な点まで決定していない状況である。放課後児童クラブの利用者や支援員の皆さんが過ごしやすいように現場の皆様と連携しながら進めていきたい。

【委員】

- ・放課後児童クラブと地域との連携について

戸破地域振興会もかかわっている関係で、地域の方との連携を大切にしながら放課後児童クラブの仕事をしている。例えば民生委員、民生児童委員さんにもご協力いただき、夏休みや行事のときにご協力をいただいたり、何かあったらご相談させていただいている。

反対に地域で、子ども向けの行事とか活動があるときには、うちの放課後児童クラブの子どもたちにも声をかけて、地域活動への参加を促すという相互の連携関係を築いている。

私の勤める学級は、学校の外にあるので、よく子どもたちを連れて付近の公園に遊びに行っている。その際に、預かっている子どもたち以外の問題行動やケガなどの問題が何度かあった。その時は、学校の方へ連絡し解決に至った。

学校の外にある放課後児童クラブだからこそ地域で起きている問題が見えてくるものがある。放課後児童クラブ単独では解決が難しい問題に対して、学校や地域に協力を依頼し、一緒に解決していく連携が取れると安全な放課後環境が作れると思う。

【委員】

- ・私たちのサークルは子どもたちの楽しい居場所づくりを目的に、活動をしている。

私は毎年手作り本作りの活動をしており、子どもたちの自発的な発想が引き出せるように子どもたちとかかわっている。今年度の活動は、子どもとの対話について考えさせられた。

サークルに来る児童の中にも、「活動をしたくない」と言う子どももいる。そういった子どもは、学校であったことを引きずって来ているように感じられる。対応に苦慮する児童がいるときは、推進員が1人付きっきりで児童の話を聞くようにしているが、臨機応変に対応することや一人ひとりに向き合うためにも、人数が必要であると感じたため、推進員の確保というのは、とても重要な課題だと思う。

また今年は、1年生の先生の方からサツマイモの授業に協力依頼があり、手伝うことがあった。地域と先生の会話を増やして行くことで解決できることもあるため、コミュニティスクールが始まっても、子どもたちの居場所づくりに関しての話ができるようにしていただきたい。

【委員】

- ・茶道サークルの中では、子どもたちは礼儀正しくしているため、楽しく茶道を教えることができる。

【委員】

- ・前任の下村小学校でも茶道体験のご協力をいただいていた。このように、一人の推進員が、いろんな校区で活動できるように、学校間、地域間の連携を行い異なる校区の子どもたちにも同様な体験の機会を生み出せるようなコミュニティ・スクールにしていければよいと感じた。

【委員】

- ・歌の森小学校の読書サークルの中では、子どもたちがリラックスできる環境を作ることが大切だと感じている。中には、問題行動を起こす子もいるが、そういった子どもにも楽しんでもらうにはどうしたらよいか考えると、学校の協力がどうしても必要になってくると感じた。先生たちは、実際に子どもと接している時間が長いため、サークルに顔を出ししていただけるだけで子どもたちの態度が良い方に変わる。そうすると、推進員としても自分たちの活動に集中し、子どもたちに本の良さを伝えることができる。
- ・私は、太閤山小学校でスラスラスタディサークルという勉強を教えるサークルにも協力しており、その中でもやる気のある子とない子で差ができています。やる気のない子が活動の邪魔をするので、そういうときも学校の先生に気にかけてもらえると子どもたちの気が引き締まり大変助かる。
- ・今年度は、大門小学校のサークルにも協力させていただいたが、その中では推進員同氏の意思の疎通がうまく行かないことがあった。子どもたちは、大人たちのコミュニケーションがうまくいっていない部分もよく見ているので、サークル活動内でのルールや目的を大人の中でも共通認識させていく必要があると感じた。

【事務局】

- ・コミュニティ・スクールを運営していくにあたり、当初の狙いとしては、学校の支援に力を入れていきたいと思っているが、今後事業が進んで行けば、地域の課題についても話し合いが行われる場になるように推進していきたい。

5 小学校からの意見・要望・感想

【委員】

- ・学校の方でもなかなか教員のなり手がいないということを悩んでいるが放課後対策事業の方もなり手が少なくなっていることを聞き心配している。
今年度は、感染症等でサークル活動等が中止になることが少なかったように感じ、うれしく思っている。
引き続き、放課後の子どもたちの安全居場所づくりにご協力をお願いしたい。

6 行政側からの意見・要望・感想

【委員】

- ・今年度も子どもたちの放課後の安心できる居場所や活動の機会提供いただき感謝申し上げます。
来年度から、コミュニティ・スクールが、本格的に開始される。放課後子ども教室の推進員の確保や放課後児童クラブの支援員の確保等の課題も良い方向に向かっていくように運営を行いたい。
今後、皆さまには、コミュニティ・スクール内の、学校支援ネットワークの一員として、引き続き現在行われております活動に関しては従来通りを続けていただくこととなります。そういったところの中で、学校と連携を深めていただき、子供たちの安全安心な居場所作りのために放課後対策事業の観点から意見を述べていただければ、より良い学校運営につながっていくものと考えています。来年度も引き続きご協力をお願い申し上げます。

(午前10時00分開始、11時00分終了)